

令和 4 年度の集落対策関連事業の進め方について

1 これまでの集落対策の考え方の整理について

これまでの道の集落対策により道内市町村において何らかの集落関連の取組が始められていることから、市町村や集落住民、地域づくり関係者が行なっている集落対策に対するサポートを重点的に進めることとした。(H30年度「北海道の集落対策について」で整理)

【サポートの取組】

① 集落関係者のネットワークづくり

・ふるさとづくり研究会 ・ふるさとづくりミーティング ・全道交流大会 の開催

② 相談体制の強化

・ふるさとづくり交流大会の個別相談会や地域への有識者派遣などフォローアップ

③ 集落対策のモデル事例の共有と横展開

ミーティング等で得られた取組事例を発信・PR

現状・課題

- R3集落実態調査では、市町村の集落対策として、移住・定住、担い手の確保といった交流促進、「人材」に着目した取組を重視してきており、ミーティングや交流大会・個別相談会では、そうした地域づくりをサポートする対策の検討が必要
- コロナの影響の中でも、新たな視点や地域固有の資源等の見つめ直しで取り組まれている取組モデル・事例の共有・発信・横展開に、継続的に取り組む必要がある。
- H25～H26実施の集落総合対策モデル事業の各地区の実情に応じたフォローアップ

2 令和 4 年度の取組予定 (案) () 内は実施時期

(1) 元気なふるさとづくり研究会の開催 (R47月頃、R53月頃)

R47月頃：モデル事業フォローアップ、集落実態調査追加調査、R4取組について
R53月：R4年度取組実績、取組事例集、R5実態調査、今後の取組について

(2) 元気なふるさとづくりミーティングの開催 (R49月～11月)

地域づくりを担う市町村・振興局の職員、地域おこし協力隊等との先進視察、グループワーク等の開催 (R3で実施したミーティングを踏まえ2振興局で開催予定)

開催場所：日高振興局管内、檜山振興局管内

参加対象：市町村、振興局、地域おこし協力隊、集落支援員、企業・団体、の若手職員・隊員

■アドバイザーとして、ふるさとづくり研究会委員を派遣しGW等を実施

(3) 第8回元気なふるさとづくり交流大会の開催 (R51月～2月)

市町村や地域づくり団体、地域関係企業など集落対策・地域づくりに取り組む関係者間での情報共有や連携強化・ネットワークづくりのための交流大会・個別相談会の開催

開催方式：対面方式、オンライン方式、ハイブリッドでの開催などを検討

(4) 集落総合対策モデル事業のフォローアップ (R44月～7月)

モデル事業3地域のフォローアップを実施。取組の進捗や新たな課題に応じて、現地調査、研究会委員からのアドバイス、専門人材のマッチング・派遣等を検討

(5) R5集落実態調査の検討 (R411月～R52月)

- ・集落実態調査の調査結果の活用方法をはじめ、調査項目や進め方の検討をスタート
- ・集落施策に対する要望の把握調査、必要とする関連サービスの分析も検討